

閑静な住宅地の住環境を壊し、みどり豊かな北沢川緑道をつぶす

# 大型道路の都道26号計画は中止を

## 不要不急の大型道路建設予算使えば

認可保育園と特養老人ホームの増設

がすぐに実現します

猪瀬都政は、予算と一体の3カ年重点計画「アクションプログラム2013」を策定しました。総事業費の31%が、東京外郭環状道路をはじめ3環状道路建設、国際コンテナ戦略港湾整備など巨額開発にあてられています。また、「防災」の名で、住民追い出しにつながりかねない幹線道路整備を強引に進めようとしています。その一方で、少子化対策、医療対策はそれぞれわずか2%、高齢者対策は3%にすぎません。都議会では、自民、公明、民主、

維新、みんなの党の「オール与党」で賛成。反対したのは共産党だけです。今年度の都道26号線の予算は7億5千万円、その財源の7割以上の5億4千万円が都債(借金)です。共産党都議団は、予算の組み替え動議を提案し、26号線予算の削減の成立でがんばりました。不要不急の巨額開発やむだ遣いにメスを入れれば、福祉や暮らし応援のための財源は十分にありま

沿道住民の健康と安全を脅かす都道26号線計画は、たぞえ都議に、最初から情報提供と運動のアドバイスをいただきました。

たぞえ都議に代わって里吉ゆみさんを都議会に送り、都民の代表としてがんばっていただきたいです。

三宿・池尻・代沢大型道路問題の会 川原芳子



北沢川緑道から高低差10m以上ある淡島通りまでの傾斜地に、幅20mの大型道路を通すため、高さ3メートル以上の土盛りをした壁が街を分断します。家の2階よりも高いところを車が通り、そこから騒音や排気ガスが撒き散らされます。しかも、住民の憩いの場になっている北沢川緑道をつぶすのは許せません。

都道26号線は、私たちには単なる通過路線で、車が増え危険が増すだけです。住民の憩いの場、北沢川緑道をつぶすのは許せません。

(三宿2丁目在住)

## 北区では「住民合意なし」として白紙に

北区西ヶ原地域では、防災の名を借りて住民立ち退きを迫る都道計画を白紙にさせました。都が2020年までの整備をめざす特定整備路線の1つで、北区と豊島区にまたがる補助81号線。そのうち白紙となったのは北区を通る区間。

地域の方々が「補助81号線を考える会」をつくり、「地域のコミュニティや自然環境を壊す」として見直しを区や都に求め、共産党区議が区長に「地域の同意なしに事業化すべきでない」と迫りました。その後、区が都に対して計画の見直しを要請し、都が受け入れました。



日本共産党世田谷地区委員会の見解を紹介します。

景観壊し  
大型トラックが行き交う街に変貌



日本共産党

都議予定候補

さとよし

里吉ゆみ

帝京大学文学部卒。党東京都議団事務局員。03年より区議会議員。出産・子育てをしながら、党区議団政調会長など歴任。46歳。家族は夫、長男(3歳)

私の後継者を必ず都政へ



都議会議員

たぞえ民夫

4期16年お世話になりましたが、健康上の理由で引退します。

共産党の議席は、地域の道路問題の要求を都政につなぎ、地域に都政の情報を提供する上で大きな役割を果たす議席です。私の後継者の里吉ゆみさんに、必ず引き継がせてください。

日本共産党

世田谷区民新聞

2013年5・6月号外 世田谷区民新聞社  
世田谷区太子堂4-5-2 電話 03-3427-1225